

最後の留学生活

韓国・淑明女子大学

チェ・ソヨン

こんにちは。韓国の淑明女子大学からのチェ・ソヨンと申します。これからは、私の最後の留学生活についてお話ししたいと思います。

私は、去年の10月からお茶の水女子大学で交換留学をしていますが、去年の後期から、オンラインでお茶大の授業に参加しました。そして、今学期からは、無事に来日することができ、望んでいた留学生生活を過ごすことができました。

まず、受講した講義についてお話ししたいと思います。私は去年と同じく学部の授業と留学生の授業を受けましたが、今学期は、日本文学の授業と「コンピュータビジョン」という専門的な授業に挑戦しました。いずれも留学生にとって、追いつくのが難しい授業でしたが、最後まで試験や課題を全うしました。

次は、日本の生活についてお話します。私は韓国で、あまり外出しなかったのですが、交換留学生になってからは、必ず一週間に1回は出かけることを目標にしました。最初は、どこに行けばいいかよく分からなかったのですが、展示会や博物館のどちらかを1つ選んで、その後も、その周りの街を歩くことにしました。

日本で過ごした4か月という時間は、思ったより早く過ぎてしまいました。ようやくお茶大に慣れてきたのに、もう交換留学が終わることになり、とても寂しいです。母国に帰ってもお茶大で学んだこと、経験したことを忘れずに、自分をどんどん成長させていきたいと思っています。

最後は、留学期間中に世話になった先生の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、指導教官の小口先生、1年間私が情報科に慣れるのにいろんなご配慮してくださって、本当にありがとうございました。また、インタビューにご協力してくださった情報科の五十嵐先生、いつも有益な授業を準備してくださった伊藤先生にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして、谷口先生と浅田先生、いつも

親切に教えてくださってありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

また、楽しい授業を準備してくださった加藤先生、西坂先生、そして、私の日本の生活にサポートをしてくださった萩原先生と松田先生、国際課と音羽館の管理室の方々、チューターの鈴木さんにも心から感謝しています。

